



広

報

2009
6/10

No. 538

あ

い

づ

ば

ん

げ

今年もいっぱい
スポーツしたよ！



地域の中で助け合う

優しさのカタチ

慣れ親しんだ家で暮らしたい

自分でできるうちは頑張りたい

いつまでも元気で生活したい

でもちょっと不安だな…

そう感じている方に

少しだけ手を貸すことで

毎日を楽しく過ごしてもらえたら…

そんな優しさをカタチにした

取り組みがあります



現在、会津坂下町に住む65歳以上の高齢者は5,000人を超え、全人口の30%に迫ろうとしています。

高齢者の人口が増える中、「慣れ親しんだ地域の中でいっまでも生活をした…でも、日常生活をするのにちょっと不安なことが増えてきたな。」そんなことを考えている高齢者の方たちは少なくありません。

また、高齢者を支える家族も、様々な苦労や悩みを抱えながら介護をしています。そのような方たちを支援するため、介護保険制度では、介護認定を受けた方に必要なサービスを提供しています。

しかしその介護保険も万能ではなく、認定を受けられない方や、介護保険だけでは必要なサービスを受けられない方もたくさんいるのが現状です。

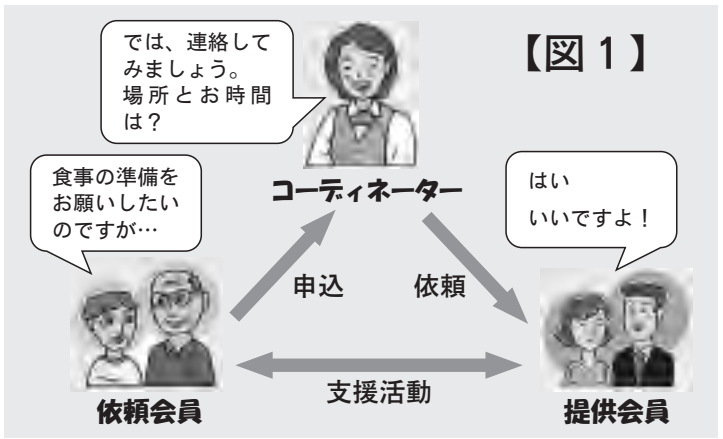
そんな介護保険が適用されないサービスを町内で提供し、高齢者の日常生活を支援しているのが「NPO法人こころの森」です。

NPO法人こころの森

NPO法人こころの森は、住民が福祉分野で安心・安全に暮らせる地域づくりを実現するため、行政と民間の協働によって平成十六年三月に設立されました。

その活動は、「子育て支援」「障がい者支援」「高齢者支援」の3本柱で構成されています。

その中の一つ、「高齢者支援」を受け持つ介護サポート・センターでは、手助けを必要とする人と（依頼会員）、手助けしたい人（提供会員）を会員として登録し、組織化して支援活動を行うことで、高齢者の生活環境の向上を目指しています。（図1参照）



援助の対象となるのは、おおむね六十歳以上の依頼会員もしくはその親族で、支援の内容は、食事の後片付けや部屋の清掃、衣服の洗濯など、家事全般のほか、通院や買い物付き添いなど多岐に渡ります。

また、それ以外にも住宅の改修や福祉機器の無料相談のものっています。

その地道な活動は口コミで広がり、昨年度は会員数が183名、援助件数は一年間で2,010件を数えるまでになりました。

この数は一年間毎日、1日5〜6件の援助をしている計算になります。多い日では一日に10件の依頼が寄せられることもあるそうです。

高齢者支援部門実績	
〔平成20年度〕	
会員数	183名
依頼会員	158名
提供会員	25名
援助件数	約2,010件

では、実際にどんな支援をしているのでしょうか。活動の様子を見てみましょう。



五十嵐 トシ子さん 85歳

五十嵐トシ子さんは数年前にご主人を亡くし、それから一人で暮らしています。

近所の方たちに見守られながら、家事はほとんど自分でこなしています。

しかし、高齢ということもあって、足元が多少ふらつくことがあるため、週に2〜3回、通院する時や、薬を取りに行く時、買い物などの付き添いを介護サポートセンターでお手伝いしています。

病院へ行った帰りに提供会員の方と一緒にスーパーに寄ることが、気分転換になるそうです。笑顔が素敵でとってもおしゃれな五十嵐さんです。



大竹 利幸さん 60歳

4年前に脳梗塞で倒れた大竹利幸さん。それ以来、手足に不自由を抱えていました。

現在は、介護保険を使っただいサービスに週2回通ってあり、それに加えて週2回、介護サポートセンターの外出介助を利用しています。

この日は、西会津の鳥追観音まで参拝に出かけました。家族の支えももちろんですが、外出する機会が増えたことにより、生活のリズムが整い、最近では日ごとに体調も良くなり、とても表情豊かで明るい大竹さんです。



Kさん 80歳

現在入院中のKさん。リハビリを兼ね、週に2回、2時間程度自分の畑へ向かいます。そこで提供会員の方と一緒に畑仕事に精を出します。

この日も提供会員が病院へ迎えに行き、2か所を回って畑仕事をしました。そして、お昼までには病院に戻ります。

畑仕事をして土に触ることで、入院前と同じ穏やかに過ごす時間を持つことができます。また、メリハリのある生活ができるようになり、体調も順調に回復しています。今は、退院の日を心待ちにしているそうです。

このほか、介護保険申請中の暫定期間の援助、家族が外出している間の高齢者の見守り、ハガキの宛名書き（代筆）なども行っています。

高齢者にとって、少しの手助けを受けながら、これまで当たり前のようにしてきたことができる、ということだけでも、とてもいい気分転換ができて生活のリズムが整い、体調の改善にも繋がります。

また、日々介護に追われる家族にとっても、介護からはなれ自分の時間を持つことは、たとえ数時間であっても気持ちにゆとりができ、介護を続けていく活力となることでしょう。

地域で助け合う

高齢者の心身の状態や取り囲む環境は一人ひとり様々で、また、日々変化しています。その一つ一つに適切なサービスを提供するためには、地域の様々な機関の連携と協力が必要です。その点からも、「介護」とは、「家族だけの問題」ではなく、地域で助け合い、取り組んでいくものと言えます。

優しさのカタチとは…

誰でも歳をとります。

そして、いくつになっても住み慣れた地域で健康に暮らしたいと願っています。

しかし誰も、いつ介護が必要になるかわかりません。

もし、介護が必要になった時、本人を、その家族を支える仕組みができていれば…。

高齢者はもちろん、それを支える人たち全てが、楽しく充実した毎日を送れるような街であれば…。

そんな仕組みが整った街こそが、たくさんの人達の思いがいっぱい詰め込まれた

“優しさのカタチ”

なのかもしれません。

地域の中での助け合いの輪が広がっています

NPO法人こころの森

ぜひ自分一人だけで頑張らずに、様々な社会資源を上手に活用しながら日常生活を送ってください。

私たちだけで一人一人を支えるのではなく、様々な関係機関と連携、協力し、住民の方々にとって住みよい地域・町づくりの一助になればと思っています。

家族全体の総合的な支援が本当の意味でのファミリーサポートと考えています。

個々に様々なケースがあり、ニーズは多様化していますが、困った時には一人で悩まずに、お電話ください。

こころの森理事長

青木 美貴子

会津坂下町

地域包括支援センター

地域包括支援センターでは主任ケアマネージャー（介護支援専門員）・社会福祉士・保健師が、いつまでも元気に楽しく暮らすお手伝いをします。

暮らしやすい地域のため、介護や健康のこと、権利を守ることなど、様々な相談ごとに迅速に対応します。

一人で抱え込まず、ぜひご相談ください。

▼問い合わせ先

・NPO法人こころの森

TEL (83) 0708

・地域包括支援センター
(健康管理センター内)

TEL (84) 2700

会津坂下町消防団

春季検閲式



行進間による小隊訓練の様子（第1分団）

会津坂下町消防団長が代わりました。

～鈴木孝英団長から田中武昭団長へ～



田中武昭団長



退団辞令を受ける前・鈴木孝英団長

前・鈴木孝英団長は、4年間消防団の牽引役として務められ、4月1日をもって退団されました。後任に田中武昭副団長が昇格し、4月2日付けで団長に就任しました。

会津坂下町消防団春季検閲式が4月26日、坂下小学校体育館で行われました。式には消防団員約470名が参加し、整然と通常点検、小隊訓練を受けました。

今年度の新入団員は38名、新女性班員9名、新ラップ隊長、副隊長各1名、新ラップ隊員2名に田中団長より辞令が交付され、新入団員を代表して第4分団第3班の江花

茂さんが力強い宣誓をしました。その後、消防活動に功労があった下記の団員にそれぞれ表彰状が贈られました。

また、会津坂下町消防団協力事業所表示制度実施要綱に基づき、会津オリンピックパス株式会社並びに会津みどり農業協同組合坂下総合支店に認定書及び表示証の交付が行われました。



会津坂下町消防団協力事業所表示制度の認定書を受ける会津オリーブ株式会社(写真右)と会津みどり農業協同組合坂下総合支店(写真左)

永年勤続章【敬称略】

【第一分団】
大田 尚司 夏井 桂
五ノ井智彦 五十嵐賢司

【第二分団】
渡部 勝浩 山内 功志
角田 秀弥

【第三分団】
谷津 将美 小熊 和之
武藤十志博

【第四分団】
大竹 秀毅 齋藤 伸一

【第五分団】
宇内 雅幸 吉田 浩芳

【第六分団】
大塚 一樹 藤崎 芳雄
渡部 喜正 田尻 明

【第七分団】
山口 雅之 大竹 伸也

功績章【敬称略】
【第一分団】
大田 尚司 鈴木 久

【第二分団】
佐藤 大輔 遠藤 吉継

【第三分団】
長峯 伸 木戸 幸治

【第四分団】
五十嵐利昭 五十嵐 淳
阿部 敏幸

【第六分団】
佐藤 一人 岩淵 秀二
【第七分団】
長谷川弘文 山ノ内正彦

精勤章【敬称略】

【第一分団】
福地 隆史 讚岐 隆弘
藤原 恒二 渡部 政也

【第二分団】
大八木栄治 外井 武和
新井田 陽 新井田広精

【第三分団】
石井 達也 菊地 隆仁
谷澤 広幸 渡部 淳

【第四分団】
大竹 邦佳 石田 直人
小池 勝雄 二瓶 剛一

【第五分団】
玉川健太郎 武田 剛一
佐藤 益久 江川 信介

【第六分団】
山内 俊幸 宇内 信
永山 昭 大島 知大

【第七分団】
斎藤 伸行 永山 秀春
塚野 雄太 酒井 一志

【第八分団】
小野 信幸 桑原 慶太
佐藤 伸一 植木 秀裕

【第九分団】
赤城 秀徳 和田 和広
長谷川 智 坂口 政智